

事務事業評価シート

(H.29)No.	1452	(H.28)No.	1452
-----------	------	-----------	------

事務事業名	「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
	地域活力創生室	山下 光彦	

会計区分	事業コード	029901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	地域活力創生事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	策 5	未来につなぐ自立と協働による市政経営
	策 2	自主自立の市政経営
	策 1	「新・理想郷プラン」の推進
重点プロジェクト	1.元気創造プロジェクト	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
移住・定住の促進につながる様々な事業展開により、本市への転入者増加を図ります。
事業内容
関西圏を中心に、地方暮らしを考えている人を本市に呼び込むため、県との連携や市内の不動産業界、移住者支援団体等との協働により、移住希望者に対しての情報発信、また、様々なライフスタイルの選択肢を提供できる体制を整備し、本市への転入促進を図る取組を進めます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	○シティプロモーション ・リーフレット『暮らしのまちなばり』の作成(10,000部) ・啓発ちらし、ポスター等の作成 ・専用WEBサイト『なばりの素敵!発見WEB』の充実 ・近鉄難波駅構内への電子広告看板設置 ○移住定住の促進 ・都市圏で開催される移住フェア等への出展(8回) ・移住定住促進活動支援事業	※「No.1451地域活力創生事業」で取組推進			

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費	1,338千円	0千円		0千円	0千円	0千円	
内訳(千円)							
国・県支出金	1,338						
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員	0.95人			0.00人	0.00人	0.00人	
臨時職員等	0.00人			0.00人	0.00人	0.00人	
②概算人件費	7,125千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	8,463千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
6月に移住・定住ホットラインを開設し、移住に関する幅広い相談対応に努めました。対応にあたっては、仕事や住まいをはじめとした様々な相談に対し可能な限りワンストップで対応できるよう、「移住・定住支援ネットワーク会議」を開催して不動産業界やハローワーク等の関係機関との情報共有に取り組みました。 移住フェア等への出展を通じ、都市部での相談対応やPRを行ったほか、リーフレット、ちらし、ポスターなどを作成し、様々なイベントや広告媒体を活用した情報発信に取り組みました。移住専用のWEBサイト『なばりの素敵!発見WEB』についても内容の充実を図りました。 オール名張で取組を推進すべく、市民の行う移住・定住促進活動(婚活事業、民間の移住支援サイト開設)に対し補助金を交付しました。 平成28年度1年間の名張市への移住者は35名で、平成27年度(23人)と比較して12名増加しました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
国の地方創生関連交付金を活用して進めてきたこの事業は平成28年度で終了します。平成29年度からは、地域活力創生事業(シートNo.1451)」として、引き続き本市への移住促進とシティプロモーションの推進に努めます。	名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略